

## 2 豊かな自然環境と調和した潤いあるまち 【環境分野】

### 政策 2-2 資源が循環する環境共生都市の実現

#### 施策の体系

#### 221 省資源・資源循環の促進

01 エネルギーの適正利用

02 ごみの発生抑制と再使用・再資源化の促進

03 ごみ処理体制の充実

04 良好な物質循環の確保

#### 基本施策

主担当

環境部

221

#### 省資源・資源循環の促進

##### 【方針】（基本施策の目指すもの）

市民・事業者・行政がそれぞれの役割に応じ、ごみの発生抑制、再使用・再資源化やエネルギーの適正利用を促進することで、環境共生都市\*の実現を目指します。

##### 【現況と課題】

- ◇大量生産・大量消費・大量廃棄の社会経済活動が環境に負荷をかけていることから、環境に配慮したライフスタイルや事業活動を促進することが求められています。
- ◇二酸化炭素排出量を削減するため、省エネルギー\*の取組や環境への負荷が少ない再生可能エネルギー\*等の活用が必要です。
- ◇循環型社会の構築を図るため、ごみを発生させない取組や再使用・再生利用による循環利用の促進が必要です。

#### 【 図表(案) 】

- ◇ ごみのリサイクル率推移(%) [同指標] [前期掲載]
- ◇ (新)太陽光発電設置数推移(件)

\*環境共生都市…人が多様な自然や生物と共に生きられる環境への負荷が少ない都市のこと。

\*省エネルギー…石油・電力・ガスなどのエネルギーを効率的に使用し、その消費量を節約すること。

\*再生可能エネルギー…自然界で起こる現象から取り出すことができる再生可能なエネルギーのこと。具体的には太陽光発電、太陽熱利用、バイオマス・エネルギーなどがある。

施 策		主担当	環境政策課
221-01	エネルギーの適正利用		
施策の目標	市有施設をはじめ、家庭や事業所における省エネルギーを促進するとともに、積極的に <u>再生可能エネルギー</u> 等を活用することにより、限りある資源の有効利用を目指します。		
主な取組	<p>①冷暖房温度設定の適正化、ライトダウン*や自転車の利用など、家庭や事業所などにおける省エネルギーの取組を促進します。(環境政策課)</p> <p>②太陽光発電システムやペレットストーブ*設置の支援などによる<u>再生可能エネルギー</u>の導入・活用を促進します。(環境政策課)</p> <p>③バイオマス・エネルギー*に関しては、情報の共有化や新しい事業の検討などにより、利活用を推進します。(環境政策課)</p> <p>④市有施設への省エネルギーや<u>再生可能エネルギー</u>の率先導入を図り、ベストミックス*化によるエネルギー管理を推進します。(環境政策課)</p> <p>⑤長野市地球温暖化防止活動推進センター*において、CO2 排出量の見える化などを検討し、エネルギーの適正利用の学習・啓発活動を推進します。(環境政策課)</p>		

※ライトダウン…屋外照明や家庭における電気を消して電力消費を削減すること。なお、ライトダウン促進のため、毎年 夏至、冬至前後の一定期間、ライトアップに馴れた日常生活の中で、日頃いかに照明を使用しているかを市民一人ひとりが実感し、温暖化問題を考える機会をつくることを目的として、ライトアップ施設や家庭の電気を消していただくよう呼びかける「ライトダウンキャンペーン」を行っている。

※ペレットストーブ…端材や間伐材などを破砕・加工し、ペレット（小さなかたまり）状に成型したものを燃料とするストーブのこと。

※バイオマス・エネルギー…生物由来の有機性エネルギーや資源（化石燃料を除く）のこと。（「バイオマス」…家畜排せつ物や生ごみ、果樹剪定枝など動植物から生まれた再生可能な有機性資源のこと。）

※ベストミックス…各電源を最適なバランスで組み合わせることで、化石燃料をできる限り利用せずに必要な電力を安定供給する組合せが必要。

※長野市地球温暖化防止活動推進センター…「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、地球温暖化対策に関する普及啓発の拠点として、社団法人長野県環境保全協会を指定し、平成 22 年 10 月に「長野市地球温暖化防止活動推進センター」を開設した。温暖化防止に関する講座や講演、広報、NPO 団体等の活動支援、省エネ相談などを行っている。